

【博士課程教育リーディングプログラム：災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公立5大学が共同でプログラムの申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー（DNGL）養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院（プログラム責任大学）
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

●交付金額

平成27年度 97,581千円

年度	プログラム担当教員				事業内容	
	役職	所属	職名	氏名		
H27	プログラム責任 大学長	学長	学長	南 裕子	平成27年度は、学生受入れ2年目の具体的な事業活動として、以下の6つを実施した。 1) 教育課程連絡協議会が中心となり、5大学院共同災害看護学専攻にて、学生21名（留学生1名）への災害看護学の教育を実施した。 2) 災害看護グローバルリーダー養成プログラム管理センターが中心となり、5大学院が連携し、DNGLプログラムの運営及び遠隔授業のためのLearning Management System (LMS) および周辺システムを運用し、各大学での教育を円滑に実施した。 3) 災害看護シミュレーションラボセンターが中心となり、学生のためのシミュレーション教育環境を整え、教育方法を開発した。 4) 博士課程教育リーディングプログラム中間評価を受けた。 5) 国際的なネットワーク、海外の連携校との連携強化及び平成25年度創刊した国際学術雑誌への投稿、さらに国際学会・会議への参加等を通して、学生がグローバルリーダーとして成長できるよう教育研究環境を整備した。 6) 各大学院の特徴を踏まえて、教育コンテンツの開発、学際的な教育研究の実施、産官学の連携及び東北地域をはじめとする被災地域との連携の中で、教育研究を展開した。	
	プログラム責任者	副学長	副学長	野嶋佐由美		
	プログラム担当者	看護学 研究科	教授	教授		山田 覚
			教授	教授		中山 洋子
			教授	教授		中野 綾美
			教授	教授		藤田 佐和
			教授	教授		竹崎久美子
			教授	教授		池田 光徳
			教授	教授		大川 宣容
			准教授	准教授		神原 咲子
人間生活学 研究科	教授	教授	大村 誠			
	教授	教授	長澤紀美子			

プログラム公式 Web サイト <http://www.dngl.jp/>